

① コリン・ジョイス 著、森田浩之 訳

『「イギリス社会」入門： 日本人に伝えたい本当の英国』

(NHK出版)

本書は、10年以上日本に滞在して、高校教師・記者・ジャーナリスト等さまざまな職種を経験したイギリス人が自国を異邦人の立場で分析して書いたものです。

天気・王室・紅茶・留学など19項目あり、イギリス人の習慣や感覚をユーモアたっぷりに紹介しています。イギリスでは、雨が降って寒い日でも「今日は暑いですね」と声をかけられたら、「暑いですね」と返すことが普通らしい。留学を考えている人は絶対に役立つので必読です。

361.5 ||Joy (N.K)

③ 成美堂出版編集部 編

『京都カフェブック』

(成美堂出版)

京都は、古くから喫茶文化をもつ街です。様々な個性を持つカフェがたくさんあります。

きらめく水面が美しい川沿いや、観光客や舞妓さんが行き交う花街、昔ながらの懐かしい空気が流れる商店街など、様々な場面に素敵なカフェが佇んでいます。

本書は京都市内にあるカフェの魅力をあます所なく伝えています。町家や古い小学校を改造したカフェやインテリアから雑貨まで、デザイナーにプロデュースさせたカフェなど、気分に合わせて選んで、とびきりのひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。

596.7 ||Kyot ||2012 (S.S.)



② 織田哲司 著

『英語の語源探訪： ことばと民族の歴史を訪ねて』

(大修館書店)

本書は、単に語源を解説するだけではありません。各章の冒頭に「駆け足英語史」というコーナーが設けられていて、英語が変化していった過程を歴史的に説明しています。その名の通り駆け足ではありますが、英語の歴史を概観出来る様に配慮されています。

初学者でも理解出来るように難しい用語を避け、興味深い話題と共に分かりやすく書かれています。

本書で英語の幅を広げてみてはいかがでしょうか。

832 ||Oda (T.F.)

④ ドナルド・キーン 著、金関寿夫 訳

『百代の过客：日記にみる日本人』

(講談社)

本書は、朝日新聞に連載された185回の原稿を一冊にまとめたものです。タイトルは『奥の細道』冒頭の言葉「月日は百代の过客にして…」から取られています。日記作者を「永遠の旅人」になぞらえ、彼らの言葉が数百年の時を隔てて私達の心に届いて来ると言います。天台僧である円仁が唐に渡り帰国するまでを記録した日記から始まり平安・鎌倉時代の様々な日記文学、そして江戸時代の芭蕉の紀行文は勿論、最後は長崎でロシア使節プチャーチンとの交渉に当たった川路聖謨の日記に到るまで、千年の間に記された日本人の日記を取り扱っています。日記を通して浮かび上がる日本人像には、大変興味深いものがあります。

915 ||Kee (F.O.)